

	めぶき	事業所における自己評価総括表	
--	-----	----------------	--

○事業所名	児童発達支援センターめぶき		
○保護者評価実施期間	2025年 6月 16日		～ 2025年 7月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	90	(回答者数) 56
	2025年 6月 16日		～ 2025年 7月 31日
○自己評価表作成日	2025年 10月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多角的なアセスメントによるお子さんの状態に合わせた発達支援	・担当者、児童発達支援管理責任者を含めた多職種でのケースカンファレンスや日常場面での意見交換 ・多職種が日常保育の中で関りお子さんに合わせた支援を提供 ・職員ミーティングでお子さんの状態と支援方法の共有	・職員研修などでより知見を深めていく ・療法士がクラスに入った日の振り返り時間の調整
2	家族支援	・保護者通所日や登降園時、電話などを利用し、保護者との情報共有 ・必要に応じた家庭訪問支援 ・学校の夏休み期間を利用し、小学生以上のきょうだいの通園参加と年3回の土曜登園の中でのきょうだい活動の実施 ・年3回の家族登園と年2回の行事を通しての家族支援	・相談支援専門員との連携 ・きょうだい活動の内容の充実を図る ・低年齢のきょうだい児への支援内容を検討する
3	他事業所、幼稚園との連携	・複数の事業所を利用している児の保護者に声をかけ、事業所連携、関係機関連携希望の有無を確認 ・西区自立支援協議会子ども部会に参画し、見学会を実施	・定期的な事業所間連携、関係機関連携を実施し、気軽に相談し合える関係作り ・他事業所の見学受け入れ

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	利用者に対する情報発信ツールの狭さ	・利用保護者との連絡ツールがメールや紙になっているなど、デジタル活用が弱い。	・出欠席の連絡をメールではなく、アプリにすることで利用保護者の利便性を図る
2	支援時間	・支援時間が9:15～13:30になっており、仕事やきょうだいの学校行事へ参加したい保護者にとっては、もっと長い預かりが必要。	・延長支援として希望者に15:15までの預かりを実施